理工学研究科

教育プログラムの名称：情報科学専攻

授与する学位の名称：修士

【修了認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)】

山形大学大学院及び大学院理工学研究科の修了認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)のもと、教育プログラム(情報科学専攻・博士前期課程)では、以下のような知識・態度・能力を獲得した学生に「修士」の学位を授与します。

1. 情報科学分野に関わる深い知識を身に付け、情報科学の先端的分野に自在に応用できる能力を身に付けている。
2. 情報科学を基盤とするシステムの機能実現に関わるシステム工学や電子工学などの関連技術分野に関する幅広い知識を身に付けている。
3. 科学技術の発展と多様化に対応できる論理的な思考力と記述力、発表と討議の能力、及び国際的な情報収集能力を身に付けている。
4. 習得した知識と技能を自在に応用できる能力を身に付けている。
5. 新しい対応が求められる情報科学の課題を設定・定式化し仮説を検証する能力を身に付けている。
6. 問題解決に革新的な方法を適用し創造性を発揮できる能力を身に付けている。
7. 考察と議論を通して広い視野で情報科学に関する研究を進め、高度な学位論文を執筆できる。

【教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)】

山形大学大学院及び大学院理工学研究科の教育課程の編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)に沿って、情報科学専攻(博士前期課程)の学生が体系的かつ主体的に学習できるように教育課程を編成し、これに従って教育を行います。

1. 情報科学の基礎から先端分野に及ぶ体系的な授業科目を配置する。
2. 学位取得後に社会で学生の能力が発揮できるよう、応用力を養う授業科目を配置する。
3. 専門的かつ多面的な考察を通して情報科学分野に関する論文を執筆できるべく、適切な助言・指導を行う。

【入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）】

◆求める学生像

博士前期課程では、以下を持つ人材を筆記試験と口頭試問及び面接試験により選抜します。

- ・ 専門分野に関する基礎学力を有し、さらに深く学ぼうとする意欲
- ・ 専門分野に関する知識を生かし、論理的な思考のもと、自然科学の探求や研究開発に取り組む積極性と社会に貢献する意欲
- ・ 自ら考えて決断、行動する力
- ・ 他への思いやりの心、協調性と高い倫理観